

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市科学館
条例上の設置目的	千葉市科学館設置管理条例（平成18年千葉市条例第44号） 第1条 本市は、科学に関する知識の普及及び啓発並びに青少年の創造力のかん養を図り、市民文化の発展に寄与するため、千葉市科学館を設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	千葉市科学館は、千葉市科学都市戦略の基本理念「こどもから大人まで、すべての市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる、科学都市を創造する」に基づき、市民が科学・技術に触れ合い、ライフスタイルに科学が浸透する機会を提供する生涯学習施設としての役割を担っている。また、千葉市科学館のコンセプトは、「参加体験型の科学館」と、人から人へのコミュニケーションを大切にした「人が主役となる科学館」である。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・幅広い年齢層の市民を対象に、科学に関する知識の普及及び啓発に寄与すること ・学校教育と連携して、青少年の創造力のかん養を図り、科学や技術に対する興味関心を高めること
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上を図るとともに、生涯学習施設として学校教育支援を充実させることや、さらに多くの市民に本施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。
成果指標※	① 入館者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度 ③ 市内小学校団体利用の割合
数値目標※	① 400,000人 ② 97% ③ 100%
所管課	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

### 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	コングレ・東急コミュニティー共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	株式会社コングレ 株式会社東急コミュニティー
主たる事業所の所在地 (代表団体)	大阪市中央区淡路町三丁目6番13号
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

### 3 管理運営の成果・実績

#### (1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標 ※1	R4年度実績	達成率
入館者数	448,000人（400,000人）	378,800人	84.6%
利用者アンケートにおける利用者満足度	98%（97%）	97.8%	99.8%
市内小学校団体利用の割合	100%	93.5%	93.5%

※1 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

※プラネタリウム入場年間人数/(投影回数×席数)

#### (2) その他利用状況を示す指標

指標	R4年度実績	新型コロナウイルス感染対策のため6月30日まで 座席数を150席、7月1日以降200席で計算している
プラネタリウム稼働率（%）	29.7%	

#### 4 収支状況

##### (1) 必須業務収支状況

###### ア 収入

(単位：千円)

費  目		R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	418,981	393,315	実績-計画	0	
	計画	418,981	386,734	計画-提案	0	
	提案	418,981	386,734			
利用料金収入	実績	55,853	44,855	実績-計画	8,598	入館者数の増
	計画	47,255	82,514	計画-提案	△ 24,275	
	提案	71,530	82,514			
その他収入	実績	29,432	23,140	実績-計画	5,157	ミュージアムショップの売り上げ増
	計画	24,275	37,900	計画-提案	0	
	提案	24,275	37,900			
合計	実績	504,266	461,310	実績-計画	13,755	
	計画	490,511	507,148	計画-提案	△ 24,275	
	提案	514,786	507,148			

###### イ 支出

(単位：千円)

費  目		R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	275,851	277,288	実績-計画	11,236	職員数の増
	計画	264,615	266,922	計画-提案	0	
	提案	264,615	266,922			
事務費・管理費	実績	161,894	124,921	実績-計画	8,498	新型コロナウイルスの感染縮小に伴い、入館者数が増加し、事業運営が円滑になることで、費用が増加
	計画	153,396	167,926	計画-提案	0	
	提案	153,396	167,926			
委託費	実績	50,369	57,065	実績-計画	△ 19,631	年度前半のコロナ対策の事業休止に伴う活動の減少
	計画	70,000	71,300	計画-提案	0	
	提案	70,000	71,300			
管理に係る備品購入費	実績	3,073	525	実績-計画	573	新型コロナウイルスの感染縮小に伴い、入館者数が増加し、事業運営が円滑になることで、費用が増加
	計画	2,500	1,000	計画-提案	0	
	提案	2,500	1,000			
間接費	実績			実績-計画	0	
	計画			計画-提案	0	
	提案					
合計	実績	491,187	459,799	実績-計画	676	
	計画	490,511	507,148	計画-提案	0	
	提案	490,511	507,148			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】R3年度
自主事業収入	実績	1,776
その他収入	実績	
合計	実績	1,776
		1,307

イ 支出

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】R3年度
人件費	実績	
事務費	実績	
管理費	実績	
委託費	実績	906
使用料	実績	
事業費	実績	292
利用料金	実績	
その他事業費	実績	
間接費	実績	
合計	実績	1,198
		464

間接費の配賦基準・算定根拠

(3) 収支状況

(単位：千円)

	R4年度	【参考】R3年度
必須業務	収入合計	504,266
	支出合計	491,187
	収支	13,079
自主事業	収入合計	1,776
	支出合計	1,198
	収支	578
総収入	506,042	462,617
総支出	492,385	460,263
収支	13,657	2,354
利益の還元額	0	0
利益還元の内容		

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
入館者数	C	市設定目標値の94.7%
利用者アンケートによる利用者満足度	C	市設定目標値の100.8%
市内小学校団体利用の割合	C	市設定目標値の95.3%

【評価の内容】※数値はいざれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	特になし

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A : 選定時の提案額から 10% 以上の削減

B : 選定時の提案額から 5% 以上 10% 未満の削減

C : 選定時の提案額と同額又は 5% 未満の削減

(D・E : 選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

- : 対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項	
<b>1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>				
市民の平等利用の確保	B	B	・刻々と変わる状況を都度判断しながら、新型コロナウイルスの感染対策を徐々に緩和した。 ・展示リニューアルの工事中は、日常的に施工業者との調整を行い、利用者動線の安全管理に務めた。	
関係法令等の遵守				
リスク管理・緊急時対応				
<b>2 施設管理能力</b>				
<b>(1) 人的組織体制の充実</b>	B	B	・事業計画どおり、年間を通じて53名の職員を配置した。 ・博物館学芸員有資格者も、約30名配置した。 ・全職員が指定管理者本社での研修を受講した。	
管理運営の執行体制				
必要な専門職員の配置				
従業員の能力向上				
<b>(2) 施設の維持管理業務</b>	C	C	・9Fの展示照明をLED灯とし、省電力を図った。 ・新型コロナ対策として、展示室内の清掃・消毒を定期的に実施した。	
施設の保守管理				
設備・備品の管理・清掃・警備等				
<b>3 施設の効用の発揮</b>				
<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>	B	A	・入館券の自動券売機および券売システムをリニューアルし、キャッシュレス対応かつ外国語対応できる機種を導入した。	
開館時間・休館日				
利用料金設定・減免				
利用促進の方策				
<b>(2) 利用者サービスの充実</b>	B	B	・リニューアル工事中は館内の見通しが悪かったため、案内表示を強化して利用者動線の安全管理を行った。 ・利用者満足度で99.0%の回答者が再来館の意思を示し、市が設定した目標を達成した。	
利用者への支援				
利用者意見聴取・自己モニタリング				
<b>(3) 施設における事業の実施</b>	C	B	・リニューアルの監修者を招聘して講座を開催した。 ・プラネタリウム番組と連携してコンサートを開催し、満席になった。	
施設の事業の効果的な実施				
自主事業の効果的な実施				
<b>4 その他</b>				
市内業者の育成	C	C	・前年度に採用した障害者1名を年間を通じて継続雇用した。 ・契約社員1名を正社員として雇用した。	
市内雇用への配慮				
障害者雇用の確保				
施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】

- A : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C : 概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D : 一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
メンバーカー会員について令和3年度は目標に到達しなかったが、令和2年度よりは増加している。オンラインのインフラも整ってきており、更なる拡充により、科学館のファンを増やし、メンバーカー会員の増加につなげていただきたい。	令和2年度 令和3年度	・多種多様なメンバーカー会限定イベントの実施や科学情報・科学館情報提供発信の回数を増やすだけではなく、深めていく。また、展示リニューアルが完成したので、PR等努め、今後、メンバーカー会員増加を目指すだけでなく、メンバーカー会員のリピーターを増やす方策に取り組んでいく。

## 6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	館内にアンケート用紙と回収箱を2ヶ所に設置。アンケートは後日郵送できるようにハガキ大に設定。							
	回答者数	983票							
	質問項目	フェイスシート項目：年代・会員・非会員・住まい 質問項目：来館回数・同伴者・科学館全体印象・施設印象・再来館の意思・自由記述							
結果	ア 回答者の属性	1~12歳	13~19歳	20代	30代	40代	50代	60歳以上	不明
	・年齢	20.3%	2.9%	21.4%	19.6%	14.5%	7.6%	3.8%	9.7%
	・科学館会員比率	会員	非会員						
		7.8%	92.2%						
	イ 来館回数	はじめて	2~3回	4回以上					
		38.3%	26.2%	35.4%					
ウ 科学館全体印象	とても良い	まあ良い	ふつう	あまり良くない	悪い				
	78.8%	18.2%	2.5%	0.4%	0.1%				
	エ 施設印象	とても良い	まあ良い	ふつう	あまり良くない	悪い			
オ 再来館の意思	76.5%	20.7%	2.1%	0.6%	0.0%				
	ぜひ来てみたい	機会あれば来てみたい	どちらとも言えない	来たくない					
	84.3%	14.7%	0.7%	0.2%					

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
リニューアルした展示物で、台が高すぎて幼児が使いづらい。	展示物の下に踏み台を設置して、幼児でも体験できるようにした。
プラネタリウムで声を発すると外に出なければならなければならぬいため、乳児をつれて入りづらい。	投影中に声を出しても良い、乳幼児とその家族に向けたプログラム「赤ちゃんプラネタリウム」を定期開催した。
企画展の来場記念品がほしい。	企画展のロゴをデザインした缶バッジを作成してミュージアムショップで販売した。

## 7 総括

### (1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	5月から9月まで、館内では展示リニューアルの工事が行われた。工事進行中は、稼働展示が減ってしまうためワークショップや特別展示の強化で補った。また、市と施工業者との協議にも参加し、管理運営の立場から意見を述べ、完成品のチェックを行った。 10月からはリニューアル展示がオープンしたため、試行錯誤しながら新展示の運用を徐々に行なった。 3年目を迎えた新型コロナウィルス対策は徐々に緩和。休止展示を再開し、館内飲食を解禁した。これらの対策と利用者の外出回帰が重なり、下半期の総入館者数は、過去6年で最高を記録した。
------	---	----	--

### (2) 市による評価

総括評価	B	所見	新型コロナウィルス感染は徐々に下火になり、それに伴う対策も緩和していく。中止していたワークショップをはじめ、休止中の展示も再開することができた。館内の飲食の解禁やプラネタリウムの定員削減解除など、適切に対応することができた。 開館して15年を迎える9月末にかけて展示リニューアルを「居ながら施工」の形で行い、10月末には無事オープンすることができた。しかも6500の実物大の展示や、世界的発見であるICE CUBEの展示など、子どもから大人までの科学的興味を喚起する、地域の科学的ステーションとしての役割を十分果たしている。ICE CUBE監修者による特別講演も実施し、大変好評であった。コロナ感染の縮小と、リニューアル効果もあって、10月以降下半期の入館者数は約18万8千人と過去6年で最高であった。 科学フェスタ2022も昨年度より一歩進んだ形で事前予約の人数を増やしながら、当日参加可能なイベントを増やすことで昨年度を上回る来館者があった。 (R3 7450人→R4 8952人) また、利用者満足度で99%の回答者が再来館の意思を示し、市が設定した目標を達成することができた。
------	---	----	--

#### 【評価の内容】

- A : 市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B : 市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C : 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D : 管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E : 管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

### (3) 教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

市による評価はおおむね妥当であると認める。また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、財務に関する事項で特記するものはないとの認識。その他、次の事項を本委員会の意見とする。 ア 昨年度実施したリニューアルは、地域の科学ステーションの役割を果たすべく創意工夫が見られるものであり評価できる。 イ 引き続き、市内小学校団体利用の割合の目標達成に向け、各学校への働きかけを行っていただきたい。 ウ メンバー会の継続利用に関し、自動継続を検討するなど、利用者の負担軽減を行うとともに、会員の増に向けた方策を図っていただきたい。また、リピーターを増やすための方策として、集客効果の見込めるきっかけをつくり、来館者増に向けた取組みを検討していただきたい。
--